

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
創立50周年記念特別公演



会 場／安曇野市豊科公民館

Violin



©ヒダキトモコ

徳永 二男

Violoncello



©銅島徳基

堤 剛

Piano



©大窪道治

練木 繁夫

第37回ハーモニックコンサート Harmonic Concert

徳永 二男・堤 剛・練木 繁夫 巨匠トリオ

2023年 **1月14日** (土) **開場** 16時30分
開演 17時00分

会 場／安曇野市豊科公民館

入場券／**¥1,000** 全席自由 先着600名様まで

チケット
販売

場 所 ◎安曇野市豊科公民館 (※前回までと販売場所が変更となりましたのでご注意ください。)
◎株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 穂高工場 (総務部・警備室)
長野県安曇野市穂高牧1856-1

期 間 2022年12月1日～2022年12月23日まで
時 間 平日の9:00～17:00

《販売予定数完売し次第、終了となります。》
《チケットに余裕がある場合は、当日15:00から会場正面玄関にて販売します。》

新型コロナウイルス感染症対策を充分に行い開催いたします。

当日来場される方はマスクの着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染状況により、延期となる場合がございます。その際は払い戻しをいたします。

主催：公益財団法人 **ハーモニック伊藤財団**

協賛：株式会社 **ハーモニック・ドライブ・システムズ**

後援：安曇野市教育委員会・HDS調和会

お問い合わせ ▶ 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 穂高工場
TEL.0263-83-6800 (事務局：総務部 成田) <https://www.hds.co.jp/>

Program

Ludwig van Beethoven (1770～1827)
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

Piano Trio No.7 in Bb major
Op.97 ‘The Archduke’

ピアノ三重奏曲第7番 変ロ長調
作品97「大公」

－ 休 憩 －

Pyotr Ilyich Tchaikovsky (1840～1893)
ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

Piano Trio in A minor
Op.50 ‘In Memory of a Great Artist’

ピアノ三重奏曲 イ短調
作品50「偉大な芸術家の思い出に」

Profile

徳永 二男 Tsugio Tokunaga

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。
ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園にて、齋藤秀雄氏に師事。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。1968年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。1976年、NHK 交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担い、長年NHK 交響楽団の“顔”として抜群の知名度と人気を誇る。NHK 交響楽団在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれ、とりわけ、ケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演での、ヴォルフガング・サヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートに出演して絶賛を博した。1994年にNHK 交響楽団を退団し、ソロ、室内楽に専念。1992年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰し、1995年から2013年までJT アートホール室内楽シリーズの音楽監督を、1996年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。ソリストとしても、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび

堤 剛 Tsuyoshi Tsutsumi

名実ともに日本を代表するチェリスト。桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事。1961年アメリカ・インディアナ大学に留学し、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。1963年よりシュタルケル教授の助手を務める。同年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞を果たし、現在に至るまで、日本、北米、ヨーロッパ各地、オーストラリア、中南米など世界各地で定期的に招かれている。これまでに、日本藝術院賞（1992年）をはじめ、ウジェーヌ・イザイ・メダル（1973年）、芸術祭放送大賞（1974年）、中島健蔵音楽賞（1998年）、毎日藝術賞（2017年）、文化庁創立五十周年記念表

練木 繁夫 Shigeo Neriki

1976年ツーンソンのバイエニアル・ピアノ・コンクールと79年ピッツバーグのスリー・リヴァース・ピアノ・コンクールで1位に輝いた。これまでにボストン響、シカゴ響、ピッツバーグ響、ワシントン・ナショナル響等と共演。アメリカ国外でもメキシコ国立響、フランス放送管、そしてN響を含む日本の主要なオーケストラと共演。また、76年より、チェロの巨匠ヤーノシュ・シュタルケルとともに世界各地を公演した。09年紀尾井ホールでの「デビュー30周年記念リサイタル」は、各方面から高い評価を得た。室内楽奏者としてもヨーロッパ、アジア、北米のコンサートやフェスティバルに数多く出演。93年第24回サントリー音楽賞を受賞。90年シュタルケルと収録したD. ボッパーの作品のCDが、グラミー賞のソリスト部門にノミネー

Violin (ヴァイオリン・指揮)

招かれている。2008年から毎年、東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。2015年は、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクール の審査員を務めた。2016年には、楽壇生活50周年を迎え、多くの記念公演を行い、文化庁長官表彰も受ける。近年は指揮者として、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。2018年には、ギドン・クレーメルをソリストに迎え、クレメータ・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮して好評を博した。CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、パガニーニのカプリースなどをリリースしており、最新盤は「徳永二男プレイズ R. シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」(オクタヴィア・レコード)。桐朋学園大学特任教授。

過去の当コンサートでのご演奏歴
第14回（1996）、第16回（1998）、第20回（2002）、第24回（2006）、第27回（2009）、第30回（2013）、第33回（2016）

Violoncello (チェロ)

彰（2018年）など多数受賞、表彰されている。また、2009年秋には紫綬褒章を受章し、同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。2013年、文化功労者に選出。録音における活躍も目ざましく、近年では2017年に萩原麻未と「フランク & R. シュトラウス:ソナタ」がリリースされ、絶賛を浴びている。インディアナ大学教授（1988年秋～2006年春）、桐朋学園大学学長（2004年4月～2013年3月）を歴任し、霧島国際音楽祭音楽監督、韓国国立芸術大学客員教授、桐朋学園大学特命教授、日本藝術院会員。2007年よりサントリー・ホール館長を務める。

Piano (ピアノ)

トされた。97年にはオール・シューマン・プログラムの「パピヨン」が、文化庁芸術祭賞作品賞を受賞。1981年～2015年までインディアナ州立大学で教鞭をとった。現在、桐朋学園大学教授、国立音楽大学招聘教授、相愛学園大学客員教授、エリザベート音楽大学非常勤講師、霧島国際音楽祭企画委員。リサイタルのみならず、室内楽、オーケストラ共演と幅広く活躍中。

過去の当コンサートでのご演奏歴
第16回（1998）、第20回（2002）